

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所  
 【現地駐在】TTB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)  
 HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



### 【香港駐在員事務所】

## インバウンドの取り込みに向けて

### 1. はじめに

香港は 4 年ぶりに新型コロナウイルスの規制がほとんどない状態で春節（旧正月、今年は 1 月 22 日）を迎えました。春節の休暇期間中、飲食店は多くの家族連れで盛況となり、売上はコロナ前の 9 割まで回復しました。一方で久しぶりの海外旅行に出かける人も多く、1 月 18 日～27 日の 10 日間で約 55 万人が香港国際空港を利用し、空港内もかつての賑わいを取り戻しつつあります。

今回は新型コロナウイルス発生前の訪日状況を振り返りながら、今後のインバウンドの取り込みに向けた課題についてご紹介いたします。



春節にお寺を参拝する人々（筆者撮影）



香港国際空港の様子（筆者撮影）

### 2. 新型コロナウイルス発生前の訪日状況

まず、新型コロナウイルス発生前の香港からの訪日外客数（日本を訪れた外国人旅行者数）と山口県他近県の延べ宿泊者数を振り返ってみます。

【香港からの訪日外客数】

（単位：人）

|    | 2015 年    | 2016 年    | 2017 年    | 2018 年    | 2019 年    |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 全国 | 1,524,292 | 1,839,193 | 2,231,568 | 2,207,804 | 2,290,792 |

出典：日本政府観光局（JNTO）「年別 国・地域ごとの訪日外客数の推移」

香港からの訪日外客数は増加傾向にあり、2019 年は過去最高の 229 万人（月平均約 19 万人）を記録し、訪問先も人気の観光地だけでなく、全国各地に広がりを見せていました。

同年の国・地域別では中国 959 万人、韓国 558 万人、台湾 489 万人に次いで香港は 4 位でした。また、訪日外客数合計 3,188 万人のうちアジアからが 2,681 万人と圧倒的に多く、上位 4 位までで全体の約 70%を占めていました。

【香港からの延べ宿泊者数】

(単位：人)

|     | 2015 年  | 2016 年  | 2017 年  | 2018 年  | 2019 年  |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| 山口県 | 1,790   | 3,750   | 3,280   | 3,520   | 5,070   |
| 島根県 | 4,030   | 6,390   | 8,470   | 8,020   | 10,620  |
| 広島県 | 25,080  | 56,660  | 50,780  | 48,880  | 46,200  |
| 愛媛県 | 12,580  | 26,480  | 26,680  | 27,300  | 29,210  |
| 福岡県 | 245,790 | 288,660 | 321,110 | 343,250 | 459,590 |
| 長崎県 | 34,590  | 31,380  | 33,070  | 35,380  | 61,240  |
| 熊本県 | 82,120  | 61,330  | 86,230  | 121,710 | 100,370 |
| 大分県 | 58,450  | 56,610  | 81,260  | 103,140 | 99,890  |

出典：日本政府観光局（JNTO）「都道府県別外国人延べ宿泊者数」

山口県の延べ宿泊者数は増加傾向にあったものの、日本と香港との間の直行便の有無の影響もあり、近県と比較すると低い水準に留まっていました。

### 3. 最近の訪日状況

最近の訪日外客数は、昨年 10 月に日本への外国人観光客の個人旅行が解禁されて以降、増加しています。

【香港からの訪日外客数】

(単位：人)

|     | 2022 年 9 月 | 2022 年 10 月 | 2022 年 11 月 | 2022 年 12 月 |
|-----|------------|-------------|-------------|-------------|
| 全国  | 2,800      | 36,200      | 83,000      | 141,300     |
| 前月比 | —          | +33,400     | +46,800     | +58,300     |

出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（推計値）」

12 月単月では韓国 45 万人、台湾 17 万人に次いで香港は 3 位でした。同月にゼロコロナ政策を転換した中国を除き、上位の顔ぶれは以前と変動なく、今後も東アジアからのインバウンドの取り込みがポイントになりそうです。

### 4. インバウンドの取り込みに向けた課題

日本に旅行経験のある香港人に聞いたところ、日本では観光地間の移動や現金以外の決済方法で不便を感じたという意見が多くありました。その要因として、香港では自家用車の保有率が低く公共交通機関が充実していること、IC カードの普及率が高いことが挙げられます。

香港では「ミニバス」と呼ばれるマイクロバスが公共バスの走っていない路線をカバーしています。中には出発地と最終目的地は決まっていますが、乗り降りはどこでもできる種類もあります。日本でも地域住民の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する自治体等が増えていますが、主たる観光地を巡回するバスが増えてくると観光地間の

移動時間が短縮され、二次交通の改善に繋がります。

また、「オクトパスカード」と呼ばれる IC カードがあり、タクシー以外ほとんどの交通機関、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ファーストフード店等多くの場所で利用可能です。チャージも駅やコンビニエンスストア等でできます。日本でも IC カードの普及が進んでいますので、今後、観光地等で利用できるお店が増えてくると支払いが楽になり、利便性が向上します。



ミニバス（筆者撮影）



IC カードリーダー決済端末（筆者撮影）

## 5. おわりに

インバウンドを取り込むことは地域の活性化や雇用機会の創出等に繋がると期待されています。しかしながら、その重要性は感じつつも外国人とのコミュニケーションが不安で慎重になっているという意見もあります。そういった不安を解消するために、地域に住む外国人との交流の機会を設けたり、日本語や日本文化を学んでいる外国人学生や海外からの修学旅行生を受け入れることも 1 つの方法です。また、さまざまな国・地域から外国人を受け入れるには多言語での対応が必要ですが、翻訳専用端末や音声翻訳アプリを利用することで言葉の壁をカバーできるようになりました。

今後、少子高齢化、人口減少が更に進む中においてインバウンドがもたらす経済効果は大きく、地域全体で課題解決に取り組み、ハード・ソフトの両面から受け入れ態勢を整備していくことがより一層重要になると感じています。

山口フィナンシャルグループではインバウンドに興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。

（山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博）

## 【参考文献】

- ・ The Daily NNA 香港&華南版  
香港に春節のにぎわい戻る（2023 年 1 月 26 日）
- ・ 時事速報 香港版  
春節期間の飲食店収入、コロナ前の 9 割に回復（2023 年 1 月 27 日）
- ・ 日本政府観光局（JNTO）

---

<https://www.jnto.go.jp/jpn/>

- 観光庁 訪日外国人消費動向調査

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/syouthityousa.html>

- 中華人民共和國香港特別行政區政府入境事務處 出入境旅客流量統計數字

[https://www.immd.gov.hk/hkt/message\\_from\\_us/stat\\_menu.html](https://www.immd.gov.hk/hkt/message_from_us/stat_menu.html)